



公共施設 マネジメントって なに?

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

あなたがいつも見ている景色の中には、いくつもの公共施設が存在しています。公共施設は、「生活文化の向上」「スポーツの振興や普及」など、目的を持って造られます。しかし時とともに、みんなが求めるものは、少しずつ変わってきています。シリーズ「いっしょに考えよう」では、さまざまな視点からコイちゃんが公共施設を案内します。さあ、コイちゃんと一緒に、これからの施設のことを考えてみましょう！



マネジメントの視点

マネジメントとは、対象とするものの資源や資産、リスクなどを管理して、それらのものが持つ効果を最大限に発揮できるようにすることです。その対象は、「ヒト」であったり、「モノやカネ」であったり、「情報」であったりします。第五次大竹市総合計画「わがまちプラン」でも、地域資源を有効に使い、実りの多いまちづくりをするというマネジメントの視点を掲げています。

公共施設マネジメント

本市には、学校・道路・橋・上下水道施設など、さまざまな公共施設があります。これらの施設が、造られた時代とこれからの時代は、同じ環境ではありません。「公共施設マネジメント」は、これらの施設の管理や利用の方法を、これからの大竹市全体として、最適な状態になるように考えていくことです。

検討対象施設の種類

本市では、さまざまな種類の施設の中から対象を絞って整理する手法

社会教育施設等の現況

公共施設マネジメントは、現況を把握することが必要です。このシリーズでは、まず初めに施設位置や完成時期、設置目的、維持費用などのさまざまな視点から、社会教育施設等の紹介をしていきます。

をとっています。

今、取り組んでいるのは、総合市民会館や公民館などの社会教育施設や、自由に集まり楽しい時間を過ごすだけでなく、学習活動もできるコミュニティサロンなどのマネジメントです。（これらの施設をまとめて「社会教育施設等」と表現します。）

いろいろなところにある 社会教育施設等

一緒に考えていく「社会教育施設等」は、全部で16施設(写真①～⑬)。名称は、①自然の家やさか・②コミュニティサロン元町・③海の家あたた・④サントピア大竹・⑤農林振興センター・⑥旧小方中学校体育館・⑦大竹会館講堂（アゼリアホール）・⑧コミュニティサロン玖波・⑨栄公民館・⑩コミュニティサロン栄・⑪市立図書館・⑫総合市民会館・⑬総合体育館・⑭大竹会館・⑮小方公民館・⑯玖波公民館です。次号では、各施設の場所を視点に紹介します。



どこにあるのかな？
答えは、2月号だよ!

